

登録コード	E7138300	開講年度	2026			
授業科目	多文化教育特別演習				担当教員	徳井 厚子
英文授業名	Seminar for Intercultural Education2				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・5時限	対象学生
講義室	教育N102講義室	授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観			異文化間教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能			異文化間教育の活動を支え、実現する上で必要な専門的知識・技能を身につける		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	外国籍児童生徒と多文化教育の研究および研究方法について学ぶ					
(5)授業計画	第1回：外国籍児童と多文化教育の文献 第2回：外国籍児童と多文化教育研究（文献検索の方法） 第3回：外国籍児童と多文化教育研究（文献研究の方法入門） 第4回：外国籍児童と多文化教育研究（文献研究の方法） 第5回：外国籍児童と多文化教育研究（教科書分析の方法入門） 第6回：外国籍児童と多文化教育研究（教科書分析） 第7回：外国籍児童と多文化教育研究（アクションリサーチの方法） 第8回：外国籍児童と多文化教育研究（アクションリサーチの実際） 第9回：外国籍児童と多文化教育研究（フィールドワークの方法） 第10回：外国籍児童と多文化教育研究（フィールドワークの実際） 第11回：外国籍児童と多文化教育研究（アンケート方法） 第12回：外国籍児童と多文化教育研究（アンケートの実際） 第13回：外国籍児童と多文化教育研究（構造化インタビュー） 第14回：外国籍児童と多文化教育研究（半構造化インタビュー） 第15回：まとめ 授業アンケート実施					
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・授業のねらい の到達度を測る小レポート 50% ・授業のねらい の到達度を測る最終レポート 50% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	1) 授業内容を理解しているか 2) 問題点や課題を見いだしているか 3) 結論が明確か 4) 考察を深めているか 5) オリジナリティがあるか。すべてを満たしていれば「卓越している」。上記のうち4項目を満たしていれば「かなり上にある」。3項目を満たしていれば「やや上にある」。2項目を満たしていれば「合格の水準にある。」					
(8)事前事後学習の内容	授業前に提示した課題を考えておくこと。毎回、授業後に振り返りシートを渡します。授業で学んだことについてまとめ、次の授業の最初に提出すること。振り返りシートは以下の観点に留意してまとめること。1) 授業の内容をふまえること 2) 授業から自身がどのように考えたか明確にかくこと 3) 多文化社会への課題と関連させること					
(9)履修上の注意	教育実習期間中はオンライン課題などの対応をします。レポートは期限を守ってください。引用した文献がある場合は（HPも含めて）必ずその引用元を明記すること。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	メールアドレス tokuias@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	なし					
【参考文献】	適宜指示する					